パラグアイ情勢 (2025年3月)

【国内政治】

- 下院の開会と下院議長の選出
3月4日、休会中であった下院が再開し、ラトレ下院議長（コロラド党カルテス派）が、全80議席中74票の賛成を得て、下院議長として3期目の再選を果たした。また、第一副議長としてメサ議員（コロラド党カルテス派）、第二副議長としてアバロス議員（リベラル党）が選出された。
- デング熱3型症例の確認
3月7日、保健福祉省は、パラグアイ国内では2016年以来確認されていなかったデング熱3型症例が2件確認された旨発表し、注意を呼びかけた。2件の症例は、いずれもセントラル県アレグア市の在住者で、垂への旅行歴があった。
- ウーゴ・ベラスケス前副大統領、2028年大統領選への出馬に意欲
3月15日、ベラスケス前副大統領（コロラド党アブド派）がセントラル県ニエンビ市のコロラド党関係者との会合において、2028年大統領選への出馬に意欲を示した旨報じられた。ベラスケス前副大統領は、2022年8月、米国政府からの「重大な汚職」認定を受け、2023年大統領選への立候補を取り下げていた。
- 農民デモの実施
3月26日～27日、「第31回農民・先住民・民衆の行進」が、アスンシオン市内で行われ、デモの参加者は、それぞれの社会的ニーズを主張しつつ行進した。

【対外関係】

- ペニャ大統領のオルシ新ウルグアイ大統領就任式出席
3月1日、ペニャ大統領は、モンテビデオで行われたオルシ・ウルグアイ大統領の就任式に出席し、その後二国間会談を行った。両首脳は、両国には、国の規模、発展度合い、戦略目標等で共通点が見られる点を指摘し、一層の関係強化に意欲を示した。
- パラグアイ独首脳会談
3月4日、ペニャ大統領は、パラグアイを訪問中のシュタインマイヤー独大統領と首脳会談を行った。ペニャ大統領は、独を政治、教育、文化、経済分野における同盟国と評価しつつ、二国間関係、南米・欧州間関係の強化の重要性を強調した。

- ラミレス外相のOAS事務局長選挙立候補取り下げ
3月5日、ペニャ大統領は、ラミレス外相のOAS事務局長選挙立候補取り下げを発表。その理由として、域内の友好国からパラグアイへの支持が得られないことが判明した点を挙げた。その後、10日のOAS総会で、スリナムのラムディン外相がOAS事務局長に選出された。また、立候補取り下げとなったラミレス外相は、外相に留任した。
- ユース五輪2030開催地への立候補及びワールド・スケート・ゲームズ2026開催地決定
3月11～12日、パラグアイ大統領府は、パラグアイがユース五輪2030開催地へ立候補する点と、同国がワールド・スケート・ゲームズ2026開催地に決定した点を発表した。パラグアイ政府はプレスリリースを通じて、スポーツ大国としての国際的プレゼンスを拡大する意欲と両大会がもたらしうる経済効果への期待を示した。
- パラグアイ、2025年第23回イベロアメリカ・アスファルト会合の開催国へ
3月19日、本年11月17日～21日に、第23回イベロアメリカ・アスファルト会合が南米サッカー連盟（国際会議場。アスンシオン郊外）で開催されることが発表された。2年ごとに開催される当該国際会議には、20カ国以上から専門家らが参加予定。
- カルテス・コロラド党党首とラトレ下院議長のイスラエル訪問
3月25日、カルテス・コロラド党党首は6年ぶりにパラグアイを出国し、反ユダヤ主義に対抗するイベントへの出席のためにイスラエルを訪問した。同訪問には、バルハ都市住宅住環境大臣、ラトレ下院議長、バリオス上院議員、レイテ上院議員が同行した。カルテス党首は、ネタニヤフ首相との会談、イスラエル議会での演説、ハマスの攻撃を受けた場所の視察、昨年エルサレムに移転した在イスラエル・パラグアイ大使館への訪問等を行った。
- パラグアイ、IDB総会開催地に決定
3月30日、次回IDB総会が2026年3月中旬にパラグアイで開催されることが決定された。4～5日間にわたり開催されるIDB総会は、48カ国の代表者と3,000人以上の専門家や投資家らが出席する会合であり、フェルナンデス経済財務大臣は、こうした大規模会合をパラグアイで開催することの重要性を強調した。